



## 未来に続く道を子供達に繋げよう

吉岡 規子

毎日、新聞やテレビで「削減」「減少」「赤字」「低迷」という言葉や文字をたくさん見聞きします。この単語だけ見ればマイナスの状態が想像でき、多くの方は「不安」「不安定」「不満」な状況になります。これは不幸せなことなのでしょうか？ もしそうであったなら、「増加」「黒字」「向上」という言葉や文字をたくさん見聞きしていたときは、日本全土で幸せな気持ちになっていた人々が多くいたはずですが、日本全体がそんな「安心感」「満足感」を感じていたのでしょうか？

そんな時でさえ、誰でもよかったと人を刺す若者、本来の使命を忘れ年金を改ざんした公務員、立場を利用してお金を使い込むお偉いさん、消費者に嘘までついて儲けたかった偽装問題等々、どれをとっても大人が行っていることです。未来に夢が託せなくなっているのは、大人が今ある生活(状況)に感謝の気持ちを感じていないから？ 子供達にそれを伝えてはいけません。と思います。(という私もこの毎日に感謝の気持ちが足りないのです。)



そんなことを感じていた矢先、私は知人から道元禅師の正法眼蔵「八大人覺」がまとめられたものを頂きました。(タイミング良すぎです)

「小欲」「知足」「楽寂静(ぎょうじゃくじょう)」「勤精進(ごんしょうじん)」「不忘念(ふもうねん)」「修禅定(しゅぜんじょう)」「修智慧(しゅちえ)」「不戯論(ふけろん)」の8つにまとめられたものは私には難しく、その真意に迫ることはできていません。

しかし、その中の2つ「小欲」「知足」に書かれたことは今の私にとっても必要なメッセージとなりました。

「小欲」…欲の種類は様々なものがあるが、中でも性質が悪いのは名利に関する欲である。私達は人によく思われたいと思うばかり、大儀さえも歪めてしまう。信念を貫き、すべからくこのような欲は避けるべきである

「知足」…諸々の智慧を満たすことである。二元論や逆説の中におさまるものではない。また文字通りに解釈することもいけない。文字に出会ったときに私達はそれらの真意を理解しなければならない。体験と知識とによって智慧となすのである

さあ、こんな時代だからこそ一緒に“心”の勉強をしませんか？ 手と手を取り合い、互いの体温を感じ未来を信じる気持ちを高め合うことで苦しい日々は乗り越えられるに違いありません。

「自己を動かす！積極人間への変身」というテーマで月1回勉強会が開催されています。

講師は梅谷忠洋氏 2月18日(水曜日)午後6時30分より 名古屋駅キャスルプラザホテルにて